

# 「ことば」という智力の翼を。

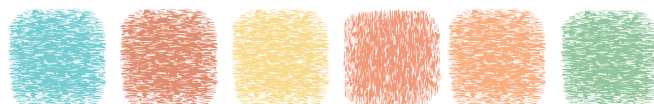
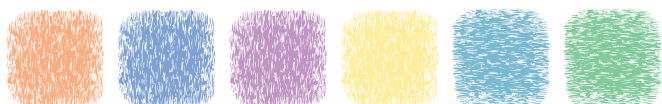
## “失敗”という概念のない幼児教育期。 お手紙ごっこ遊びで養う言語力。

言語力とは、「ことば」を用いて考え、その内容を正しく伝えられるチカラのこと。  
文部科学省の言語力育成協力者会議において打ち出された考え方で、  
狭義における国語力にとどまらないコミュニケーション能力、思考力を指します。  
言語力を養うことで、自己表現、他者理解、共同生活の能力を助長していく、ということも望まれています。

幼児期には「言葉を知る」「読む」「書く」「話す」といった国語の基礎的な練習を始めるだけでなく、  
自分の気持ちを表現したり、他者を想う気持ちも一緒に養っていく  
ことが大切です。こういった点から日本郵便は、幼児期に遊びながら言語力の基礎を育む  
「お手紙ごっこ遊び」をお勧めしています。

幼児教育には「失敗」という概念はありません。

なんでもやってみる。うまくできなくて大丈夫。なによりも楽しい!と思えることが  
智力の翼だと思うからです。





## ■ 幼児期の終わりまでに育ってほしい「10の姿」。

幼児期の終わりまでに育ってほしい「10の姿」とは、幼児期の終わり、すなわち小学校入学までに育ってほしい姿や能力の目安を示したものです。

幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領が2017年に改定されたことに伴い、新しく作られたもので、2018年4月より施行されました。

① 健康な心と体

② 自立心

③ 協同性

④ 道徳性・規範意識の芽生え

⑤ 社会生活との関わり

⑥ 思考力の芽生え

⑦ 自然との関わり・生命尊重

⑧ 数量・図形、文字等への関心・感覚

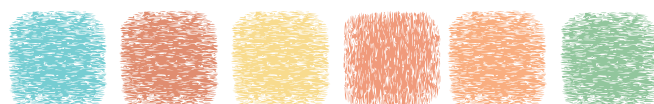
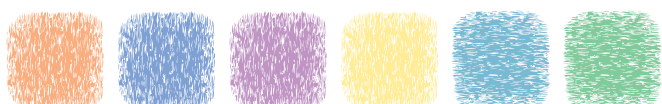
⑨ 言葉による伝え合い

⑩ 豊かな感性と表現

幼児教育の現場に立つ幼稚園教諭や保育士のみなさんにおかれては、

ひとりひとりの成長を汲み取りながら日々子どもたちに向き合われていることと思います。

「お手紙ごっこ遊び」は、上記「10の姿」のいくつにも寄与するもので、とりわけ言語力を養うことは、小学校からはじまるさまざまな勉強や姿勢に大きく影響し、スムーズな進学にもつながっていきます。

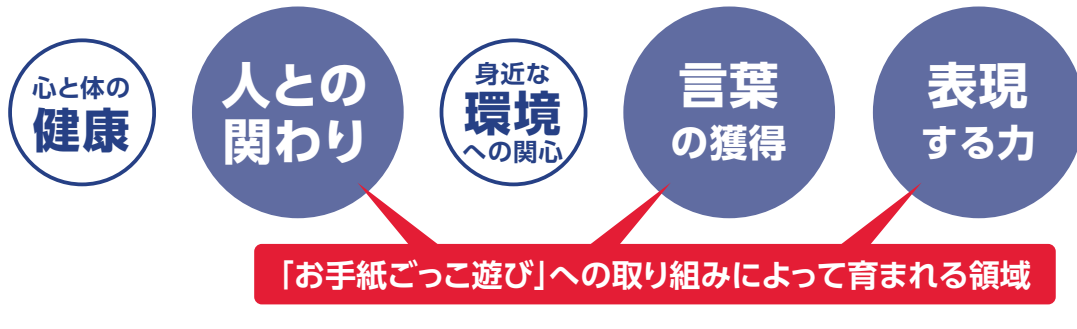




## 子どもたちのさまざまな成長につながる 「お手紙ごっこ遊び」。

幼稚園教育要領／保育所保育指針／幼保連携型認定こども園教育・保育要領

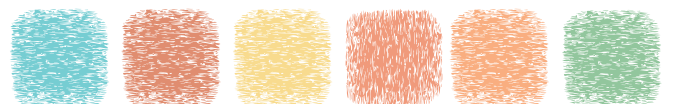
幼児期の教育及び保育に関するねらい及び内容



## お手紙を書いて文字に慣れ親しむことの必要性は 小学校学習指導要領にも強調されています。

お手紙を送る相手を決める→書く内容を決めるという思考は、コミュニケーション能力の向上が見込めます。お手紙を書くことによって身につく読み書きの基礎、情報整理スキルなどは、小学校学習指導要領で求められる「言語力」や「思考力」、「表現力」、「コミュニケーション力」、「情報活用力」に関連する能力として期待されるものです。

小学校学習指導要領





## 言語力を育む、大切なステップ1.2.3。

「目で見て」「耳で聞いて」そして「書く」。文字に慣れ、やがて表現するようになっていくためには、まずは絵本の読み聞かせから始めていくことが、読解力や表現力を伸ばすことに効果があると言われています。そして、文字に興味を持つ時期を見て、ひらがなを「読む」そして「書く」練習をはじめましょう。具体的には、次の3ステップで楽しくやってみましょう。

**1**

**絵本の  
読み聞かせ**



**2**

**お手紙  
ごっこ遊び**



**3**

**お手紙を  
書いてみる**



## 「お手紙ごっこ遊び」は心の扉を開けます。

手紙を書く、ということは「伝えたい相手」を想い、「自分の気持ち」を伝えること。コミュニケーション能力の向上というスキルにとどまらず、そこに「相手を思いやる気持ちを育む」という心の成長があります。お手紙ごっこ遊びは、その第一歩、心の扉を開けます。お手紙ごっこは、「郵便屋さん」遊びを通じて「楽しい体験」と「言葉」を覚え、「相手を思いやる心」「自分の気持ちの表現」を養います。



## お手紙を書いてみる、ということ。

ひらがなを五十音で「あいうえお」と順番に教えるよりも、「おとうさん おかあさん いつも ありがとう」「また いっしょに あそぼうね」など相手に伝えたいことを思いを込めて書くことのほうが、文字への慣れ、親しみが増します。





教室に  
ポストを置いて

## 遊びだけど、気持ちは真剣!

## お手紙ごっこ遊びで郵便屋さんのお仕事を知る。

お手紙ごっこ遊びを行うことで、郵便屋さんの仕事を知ることができます。

切手がないと届けることができない、住所が正確に書かれていないと相手に届かないなどの、お手紙を出すためのルールを学びます。

お手紙を書くだけでなく、郵便屋さんを演じる姿は、もう立派な郵便局員さんです。

遊びを通じて、大人の世界、社会のルールの片鱗を知ることができる、ちょっと特別な体験です。

**1. お手紙をかく**  
相手が喜ぶ姿を想像すると  
ワクワクするね

**2. あて名と住所と  
切手風シールを確認!**

**3. ポストに投かん**  
お手紙は郵便屋さんか  
お友達に届けてくれるよ

**4. 郵便屋さんか  
ポストからお手紙を算める**  
ぼうし、お手紙バッグを身に付けて  
ポストからお手紙を取っ出し中

**5. 消印を押す**  
キットに入っている消印風スタンプを  
使ってね

**6. 仕分け作業**  
回収したお手紙をクラスごと仕分け  
(仕分けBOXを作ってもよいです)

**7. お手紙をお届け!**  
郵便屋さんかお手紙を届けた  
自分ごとを思い、時間をかけて  
書いてくれるとうれしくなるね!

**8. 完りよう報告**  
郵便物配達完了後先生に  
届いた数などの報告

\*スタンプ台は  
ご用意ください





## ■ 手紙を送る理由は、毎日あります。

自分の気持ちを誰かに伝えたい、と思う瞬間は暮らしの中でいくつも湧き起こることでしょう。

また、手紙は相手を想う贈り物だとすると、贈る理由もいくつもあることでしょう。

お手紙を書く機会は、なんでもない毎日の中にたくさんあります。

また、一年を通して見れば、季節ごとの行事、催事、祭事、誕生日など、これもまたたくさんのイベントがあります。ご家族、お友達、先生などに手紙を書いてみましょう。

特に敬老の日におじいちゃん、おばあちゃんにお手紙を書くと、大変喜ばれることに加えておじいちゃん、おばあちゃんからは返事をもらえることが多く、実際に配達されたお手紙を受け取るという体験ができます。

行事	
4月	入園式 
5月	母の日  運動会 
6月	父の日  夏休み 
7月	七夕 
8月	お泊り保育 
9月	敬老の日 
10月	運動会  ハロウィン 
11月	お遊戯会  おいもほり 
12月	クリスマス  年賀状 
1月	お正月 
2月	節分 
3月	ひな祭り  卒園式 

お誕生日会

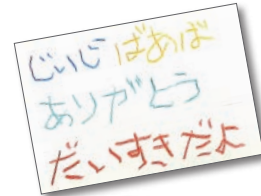




## 子どもが手紙を書くにあたっての 指導のポイント、注意点等は？

### 1. シンプルな言葉を使う

幼児の言語能力はまだ発達途上ですので、手紙の内容は子どもが理解しやすいシンプルかつ具体的な言葉を使うようにしましょう。



### 2. 絵やイラストを活用する

子どもの表現力は、絵やイラストが得意な場合があります。絵やイラストが入った手紙は、自分の気持ちや伝えたいことを視覚的に表現できます。



### 3. 書く環境を整える

手紙を書く環境を整えましょう。机や椅子を使って集中して書ける場所を設け、子どもが使いやすい文房具(クレヨン、色鉛筆など)を用意しておきます。



### 4. 見本を用意する

手紙の書き方を教えるときは、教師や保護者が手紙の見本を見せたり、書き方の手順を示したりするなど、子どもと一緒に取り組むことが有効です。



### 5. 子どもの興味や関心に合わせる

手紙の相手は、身近な家族や友だちがイメージしやすくていいいです。内容は、子どもが興味や関心を持ちやすい好きなキャラクターや遊びに関連したことやお誕生日やクリスマスなどのイベントに関するものが良いでしょう。



### 6. 書けたら褒める

子どもが手紙を書いたときは、忘れずに褒めましょう。手紙を書くことは子どもの成長を育むコミュニケーションのひとつです。



### 7. 肯定的なメッセージに

幼児の自尊心を育むために、肯定的なメッセージを書かせるようにしましょう。例えば、その子ができるようになったことや楽しみにしていることなどが良いです。



### 8. 手紙の受け渡しや返信を大切に

子どもが書いた手紙は、相手に手渡すか、郵送して受け渡しを実現しましょう。また、できれば相手から返信をもらうようにして受け取る喜びも体験させましょう。



これらのポイントと注意点を考慮しながら、子どもたちに指導していただくと、お手紙を書く楽しさや喜びを感じてもらえることでしょう。







幼児期を経て小学校へバトンを渡す。  
言語力を養っていく幼・小接続という考え方は、  
ますます進んでいます。

やがて始まる小学校での国語の授業。  
全国の約70%にあたる小学校※で、  
「手紙の書き方体験授業」が取り入れられています。

※日本郵便では、「手紙の書き方体験授業」(郵便教育)の支援を行なっています。  
この取り組みは2010年から始まり、2022年度では全国で約14,130校\*の小学校で行われ、  
約335万人の小学生のみなさんが参加されました。(\*特別支援学校含む)



## ■「手紙の書き方」授業用テキストのご紹介

小学校 **1・2**年生用



小学校 **3・4**年生用



小学校 **5・6**年生用



## 【監修】明石 要一

(千葉大学 名誉教授、千葉敬愛短期大学 名誉教授)

### プロフィール

大分県出身。奈良教育大学卒業後、東京教育大学大学院修士課程修了  
千葉大学で37年間教員養成に携わり、教育学部助手、講師、助教授を経て、  
1993年 千葉大学教育学部教授  
2005～2007年 千葉大学教育学部長  
2013年 千葉敬愛短期大学学長(～2023年3月)

### 主な経歴

2003年 文部科学省中央教育審議会スポーツ青少年分科会臨時委員、生涯教育分科会臨時委員  
2010年 ゆめ半島千葉国体大会式典委員会委員長、大会広報委員長  
2017年 文部科学省第9期中央教育審議会委員  
2012～2016年 千葉市教育委員会教育委員

**日本郵便株式会社**

お手紙ごっこ遊び支援事務局

郵便・物流事業企画部 切手・葉書室 〒100-8792 東京都千代田区大手町二丁目3番1号

[http://www.post.japanpost.jp/promotion/tegami\\_kids/](http://www.post.japanpost.jp/promotion/tegami_kids/)

お問合せ先

**TEL 03-6280-3670**

平日10:00～18:00(土・日・祝日・2023年8月14日～8月15日/  
12月29日～2024年1月4日除く)